

📖 制度の概要

FCフォークリフト（燃料電池フォークリフト）の導入促進を図り、脱炭素社会の実現に貢献するための事業です。本補助金は、環境省補助金の交付を受けた法人またはリース事業者を対象としています。 **補助対象経費はエンジン式車両との差額**に限定されています。

神奈川県内の事業所における燃料電池自動車の普及を強力に後押しするものです。車両販売目的や展示・試乗用車両は対象外となるなど、 **補助対象車両には明確な要件が設定**されています。

🔧 支援内容

❑ FCフォークリフト導入枠

環境省補助金交付を受けた法人等が対象。

最大500万円

助成率：1/2以内

🎯 対象となる経費

【FCフォークリフト導入枠】

- ❑ 環境省補助金の補助対象となった経費。
- ❑ 車両の導入に必要な経費のうち、国補助の対象部分。
- ❑ 同規模・同等仕様のエンジン式車両との導入差額。

👥 対象者

- ❑ 環境省補助金の交付申請を行った **法人**または**リース事業者**。
- ❑ 車両をリースで導入する場合、使用者とリース事業者の**共同申請が必須**。
- ❑ 導入したFCフォークリフトを **神奈川県内で使用**すること。

⚠ 補足事項

- ❑ 要件を満たしても審査があり必ずもらえるわけではありません。
- ❑ 採択後、改めて交付申請を行い事業開始となります。
- ❑ 原則、事業終了後の後払い（清算払い）です。
- ❑ 公募から採択まで数か月かかる点にご注意ください。

📊 採択率向上のポイント

- ❑ 導入計画において **脱炭素への貢献度**と費用対効果を強調する。
- ❑ FCフォークリフトの **優位性**を具体的に示し、恒常的な使用を訴求する。
- ❑ 同規模・同等仕様のエンジン式車両との **導入差額の積算**を正確に行う。
- ❑ 環境省補助金の交付決定と並行し、本補助金も **迅速に申請**する。
- ❑ 交付決定日 **より前に事業着手し不交付とならないよう**に細心の注意を払う。

📈 脱炭素戦略上の位置づけ

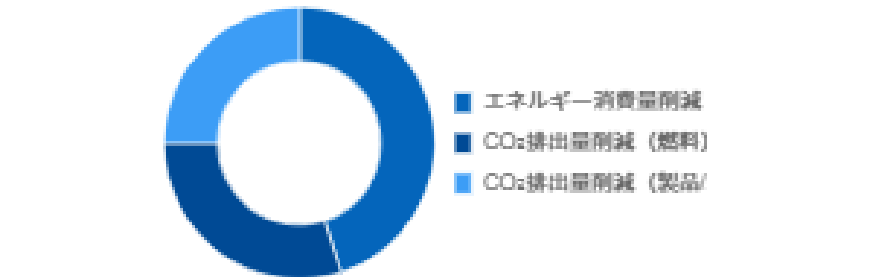
【補助金連動の優位性】

本補助金は、既に環境省の補助金交付が前提となっているため、審査における **事業の確実性が高い**と評価されます。環境省補助金と整合性を図り、 **費用対効果と脱炭素への貢献度を強調**することで、県の戦略との合致度が高まります。

【FCフォークリフトの特長】

電動フォークリフトに比べ、 **稼働時間が長く、水素充填時間が短い**ため、24時間稼働の物流倉庫などでの導入メリットが大きくなります。 **脱炭素と生産性向上を両立**させる点を訴求しましょう。特に、騒音や排ガスの低減による職場環境改善も副次的な評価点となります。

📊 FCフォークリフトの環境貢献度



データ元：既存の燃料電池車関連プロジェクト（2025年4月）

FC車の導入により、燃料と製品工程のCO2削減に寄与します。

👤 専門家活用のおすすめ

- ❑ **環境省補助金**の申請を **同時並行**でスムーズに進められる。
- ❑ **補助対象経費の積算**において、エンジン車との **差額を正確**に算出する。
- ❑ **事業計画**に記載する脱炭素化の **目標値設定を適切**に行う。
- ❑ **実績報告書**の作成および**完了期限**までの提出を確実にサポート。

📁 必要書類とチェックポイント

\*このレポートは生成AIにて作成されています【2025/12/04作成】

提出書類	チェックポイント
申請書一式	<ul style="list-style-type: none"><li>❑ 交付申請書（様式名は不要）に不備がないか確認すること。</li><li>❑ <b>交付決定日より後</b>に着手する計画か確認。（<b>最重要</b>）</li><li>❑ 車両をリースする場合は共同申請同意書を添付。</li></ul>
添付書類	<ul style="list-style-type: none"><li>❑ 環境省補助金執行団体の<b>交付申請書や通知書</b>。</li><li>❑ 納車・支払完了が令和8年3月24日までに<b>確実に完了</b>できる証明。</li></ul>
実績報告書	<ul style="list-style-type: none"><li>❑ <b>納車の翌日から2か月以内</b>、またはR8年3月24日の<b>早い方</b>に提出。</li><li>❑ 変更事項があった場合、<b>仕様変更報告書</b>を提出。</li></ul>

📅 申請スケジュール

- **事前準備・申請**
  - ・環境省補助金の**交付申請**を先行して行う。
  - ・**着手予定日の1か月以上前**に申請書を郵送すること。
- **公募期間**  
**令和7年4月25日（金）～12月26日（金）**  
期間内でも**予算額に達した時点で終了**する可能性に注意。
- **審査・交付決定**  
審査に**1か月以上**かかる場合がある。  
**交付決定日より後**に事業着手が可能になる。
- **事業完了・報告**  
事業完了日は**令和8年3月24日（火）まで**が期限。  
実績報告書も**同日までに提出**することが必須。

❓ 問い合わせ

制度詳細	<a href="https://www.pref.kanagawa.jp/docs/ap4/cnt/f460114/fcfl.html">https://www.pref.kanagawa.jp/docs/ap4/cnt/f460114/fcfl.html</a>
お問い合わせ	神奈川県脱炭素戦略本部室 運輸グループ FCフォークリフト導入費補助金担当 ※お問い合わせは制度詳細ページよりお願いいたします。

📝 Memo